



Syllabus

授業詳細

| | | | |
|--------------|---|--------|--------------|
| 開講年度 | 2018 | 開講学期 | 第3クォーター |
| 開講学部等 | 共通教育 | 授業科目区分 | 教養科目 学問分野別科目 |
| 科目ナンバリング | GnE1C-OCAT-022 | 時間割番号 | C0631 |
| 対象学生 | 学問分野別科目月1科目帯（法文、教育、社会共創、SSC一回生） | 対象年次 | 1～9 |
| 科目名[英文名] | 農学入門 [Introduction to Agriculture] | 単位数 | 1 |
| 担当教員[ローマ字表記] | 治多 伸介, 橘 哲也, 羽藤 堅治, 間々田 理彦, 菅原 卓也, 杉元 宏行, 大上 博基, 日鷹 一雅 [HARUTA Shinsuke, TACHIBANA Tet HATO Kenji, MAMADA Michihiko, SUGAHARA Takuya, SUGIMOTO Hiroyuki, OUE Hiroki, HIDAKA Kazumasa] | | |

授業題目

多様な農学研究を学ぶ(Various agricultural sciences)

授業のキーワード

食料 (Agricultural Science)、生命 (Life Science)、環境 (Environmental Science)

授業の目的

生命現象及び循環・再生の概念について理解したことを基にして、生物生産技術の開発と普及、生物資源の利用と管理、環境の保全と創生などに関する専門知識・技術の基礎について説明できるようにする。さらに、地域社会や国際社会における食料・生命・環境に関する様々な問題を解決するために、自然と人間が調和する循環型社会の創造に貢献する手法について説明できるようにする。

授業の到達目標

1. 生物生産技術を理解するための基礎知識を説明できる。
2. 生物資源の利用と管理を理解するための基礎知識を説明できる。
3. 環境の保全と創生方法を理解するための基礎知識を説明できる。

ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標） / 共通教育の理念・教育方針に関わる項目

多角的な視点を培うのに必要な幅広い基礎知識（基礎知識）

愛媛大学学生として期待される能力（愛大学生コンピテンシー）に関わる項目

必要な情報を収集・整理できる
個別の知識や技能を相互に関連づけながら習得できる
習得した知識や技能を基に自分の考えを組み立て、適切に表現（記述・口述）できる
広い視野と論理的思考に基づき分析・解釈できる
科学的根拠に基づき判断し、解決策を提示できる

授業概要

生命現象及び循環・再生の概念の理解に基づき、生物生産技術の開発と普及、生物資源の利用と管理、環境の保全と創生などに関する高度な専門知識・技術について農学部の農・林・水産の研究者が概説し、地域社会や国際社会における食料・生命・環境に関する様々な問題の解決手法についての事例や、自然と人間が調和する循環型社会の創造現代の地域社会や国際社会における食料・生命・環境に関する様々な問題とは何かについてその概要について解説する。

授業スケジュール

農学部の教員による以下のようなリレー講義です。

第1回 治多伸介 先生 「農学の概要と講義ガイダンス」

農学の全体像を概説するとともに、本講義の内容や進め方を説明する。

第2回 橘 哲也 先生 「家畜と生産物」

家畜の起源や品種について紹介するとともに、家畜の飼育と生産物の利用について概説する。

第3回 羽藤 堅治 先生 「食料生産における情報化の必要性とその利用」

食料生産分野における生産のサポートのための情報化について現状から今後の展開について最新の技術などを紹介する。

第4回 間々田理彦 先生 「農業と資源・環境問題」

農業が持つ役割や農業を取り巻く資源・環境問題、資源の利用について社会科学的な側面から解説する。

第5回 菅原 卓也 先生 「身近な食品の健康機能」

食品には様々な健康機能がある。本講義では、柑橘に含まれる成分の健康機能に関する研究および商品開発について解説する。

第6回 杉元 宏行 先生 「森林の持つ機能とそこから得られる資源の利用」

森林の有する多面的機能とその保全について紹介し、森林から得られる資源の利用について解説する。

第7回 大上 博基 先生 「農業と水循環・水資源」

降水に始まる水循環の過程および水資源と水田農業の関係について探求する。

第8回 日鷹 一雅 先生 「日本の農学における環境観の変遷」

我が国の農学は「稲ことは稲に聞け（以下、省略）」から始まったが、食と環境の問題から多様な分野を取り込んで発展してきた。農学における環境の捉え方の変遷を概説する。

授業時間外学習にかかわる情報

上記授業スケジュールを参考に自己学習に努めてください。

成績評価方法

毎回の講義内容に関するレポート・小テストで以下のように評価する。

12点×8回×100/96

受講条件

受講のルール

教科書（購入の必要のある図書）

| | | | | |
|------|-----|---|------|---|
| 教科書1 | 書名 | - | ISBN | - |
| | 著者名 | - | 出版社 | - |

参考書（購入する必要はないが、推奨する図書）

| | | | | |
|------|-----|---|------|---|
| 参考書1 | 書名 | - | ISBN | - |
| | 著者名 | - | 出版社 | - |

教科書・参考書に関する補足情報

-

オフィスアワー

火曜日 16:30~17:30

Eメールアドレス

haruta.shinsuke.mk@ehime-u.ac.jp

連絡先

農学部本館南棟2F, 222号室（治多伸介）

参照ホームページ

その他

[シラバス検索](#) > [シラバス検索結果](#) > 授業詳細

[↑ページの先頭](#)

